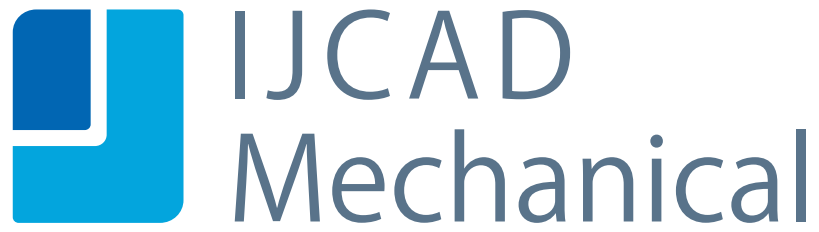
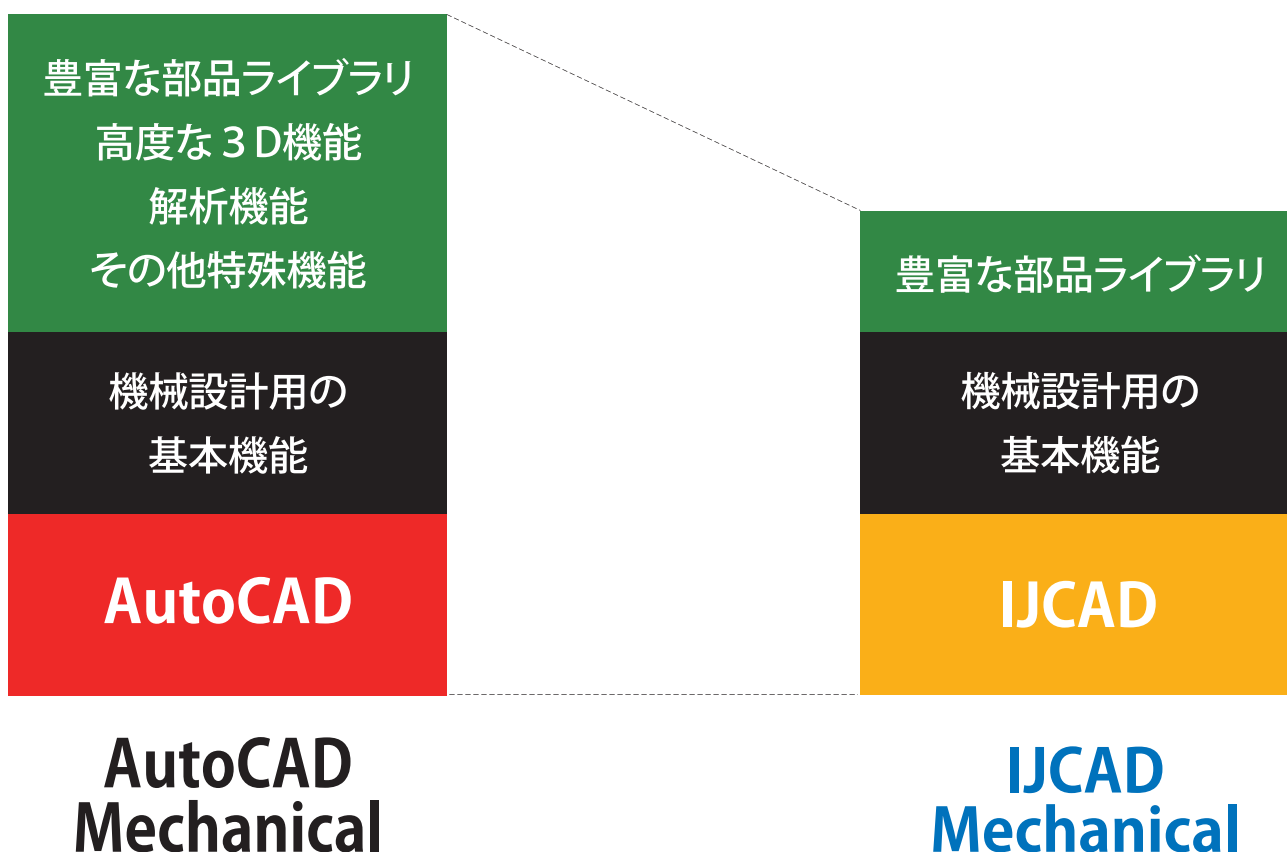


機械設計者のために



# AutoCAD LT の価格で 機械設計ができる .dwg ベースの CAD

機械設計に必要な**基本機能**と**AutoCAD Mechanical**との**互換性**に絞り込むことで、この価格を実現しました。



**特長 01** 今までなかった  
AutoCAD Mechanical のデータが扱える!

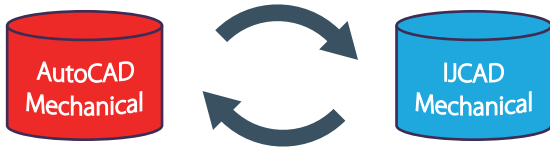
AutoCAD LT にはない  
機械設計専用のコマンドが搭載されている! **特長 02**

**特長 03** 低価格 **16** 万円～

# Mechanical

## AutoCAD Mechanical との双方向のデータ互換を実現

IJCAD Mechanical は、従来の互換 CAD や汎用 CAD では困難であった AutoCAD Mechanical(ACM) 特有の主要なメカニカルオブジェクトの双方向のデータ互換を実現しています。ACM で作成されたデータを編集することはもちろん、その編集した情報を ACM へ戻すことも可能です。これにより、ACM からスムーズな移行が可能です。**※ACM との混在利用に関しては制限がありますので、詳細についてはお問い合わせください。**

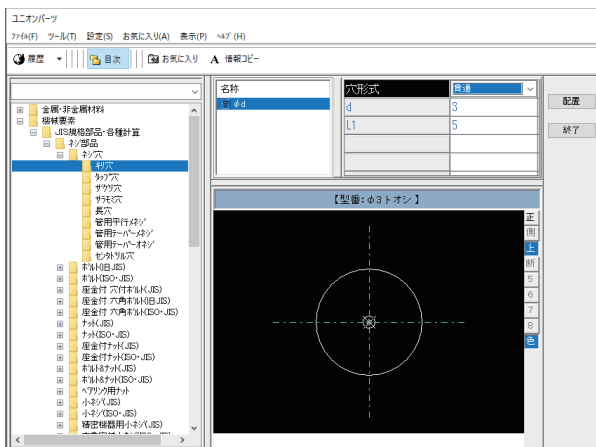


## 部品ライブラリ

IJCAD Mechanical では、作図を効率化するための部品ライブラリを搭載しています。

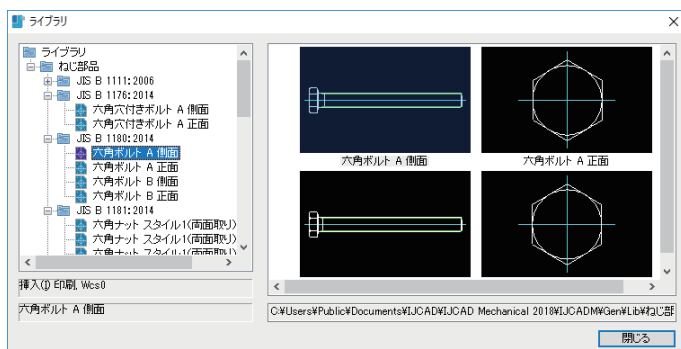
### ユニオンパーツ

形鋼やネジ、配管部品など様々な JIS 規格の機械部品が収録されています。ツリーの中から部品を選択し、サイズを指定した後に作図領域に配置することができます。あらかじめ用意された JIS 規格の部品を使用することで、作図を効率化することが可能です。



### ライブラリ

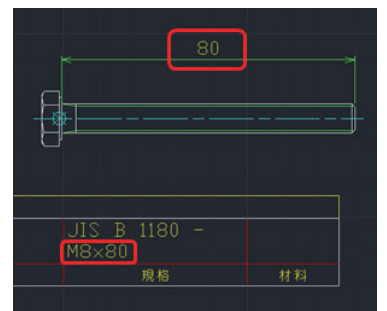
部品ライブラリに登録した DWG 部品は、モデルビューやレイアウトビュー、図面枠の尺度を自動的に判別して挿入することができます。さらに、部品ライブラリのダイアログでは、従来のツールパレットではできなかったツリー形式で部品を表示することが可能なため、より直感的な操作で部品を選び出すことができます。デフォルトでは、JIS 規格に準拠したねじ部品が登録されています。すべて汎用 CAD で作成されたダイナミックブロックです。



## IJ パーツ参照作成

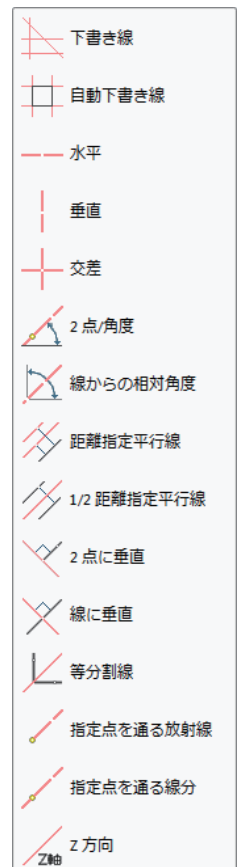
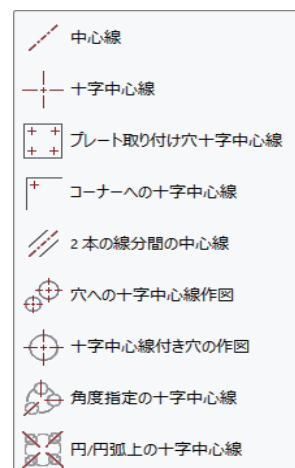
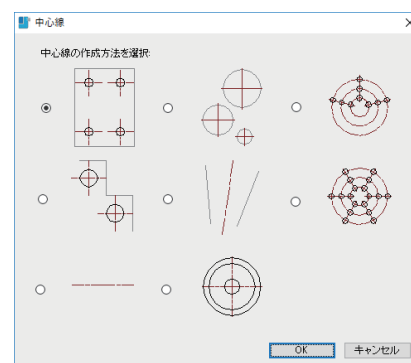
IJCAD Mechanical は、ブロックやダイナミックブロックで作成された DWG 部品を、Mechanical ライクな部品として拡張することができる機能を備えています。Mechanical ライクな部品は、部品表を管理しているデータベースの情報と連結し、ダイナミックブロックの長さや径の大きさなどを変えることで、図面上に配置されているパーツ一覧表に、部品の情報をダイレクトに反映させることができます。汎用 CAD の仕組みを利用しているため、オリジナル部品に対しても、Mechanical ライクな部品としての性質を付与することが可能です。

部品ライブラリに登録されているねじ部品は、JIS 規格に準拠したパーツ情報を持っています。IJ パーツ参照作成機能を使用することで、ねじ部品の長さや径の大きさなどの情報を自動的に部品表データベースに登録することができます。



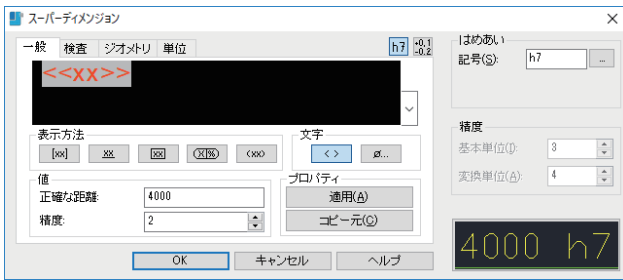
## 充実した作図補助ツール

機械設計で頻繁に使われる下書き線、中心線などの作図補助ツールが充実しています。下書き線は、他のオブジェクトと区別しやすい色で、自動的に独自の画層に配置され、いつでも表示非表示が可能です。



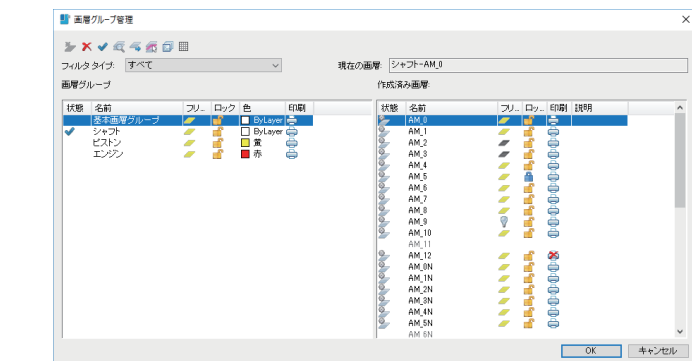
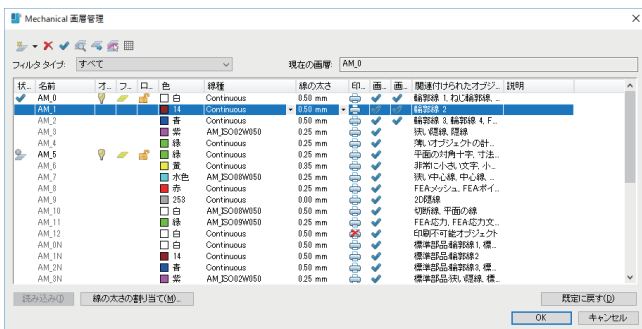
## スーパーディメンジョン（寸法作成・編集）

IJCAD Mechanical は、寸法作成・編集を効率的に行える機能として汎用 CAD には無い「スーパーディメンジョン」を搭載しています。一回のコマンド操作で長さ寸法、角度寸法、半径寸法、並列寸法、直列寸法などを使い分けることができます。ダイアログ上で、はめあい公差や許容差の挿入、特殊記号の追加や検査の表示方法の決定、基本単位の変更など様々な要素をダイレクトに寸法に付属させることができます。また、微妙な角度のラインに対する水平寸法、平行寸法を的確にスナップすることや、設定した長さの寸法線の等間隔配置もスムーズに行えます。



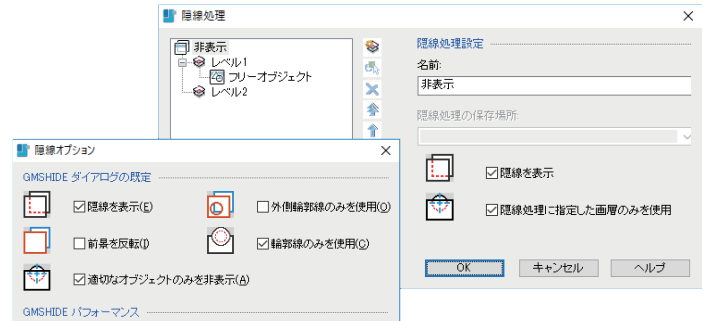
## Mechanical 画層管理、画層グループ

作図するオブジェクト毎に、それらが配置される画層をあらかじめ設定が可能で、作図するオブジェクトの種類によって画層が自動的に切り替わります。また、グループ単位で画層の管理ができる「画層グループ機能」も搭載しています。「画層管理機能」が機能的な画層の役割だとすれば、「画層グループ機能」は構造的な画層の役割を果たします。エンジンやシャフトなど、まとまりとして意味を持つコンポーネントを一つのグループとして管理します。また、図面内に散らばる無数のオブジェクトの中から、特定のコンポーネントのみを選択して編集できます。



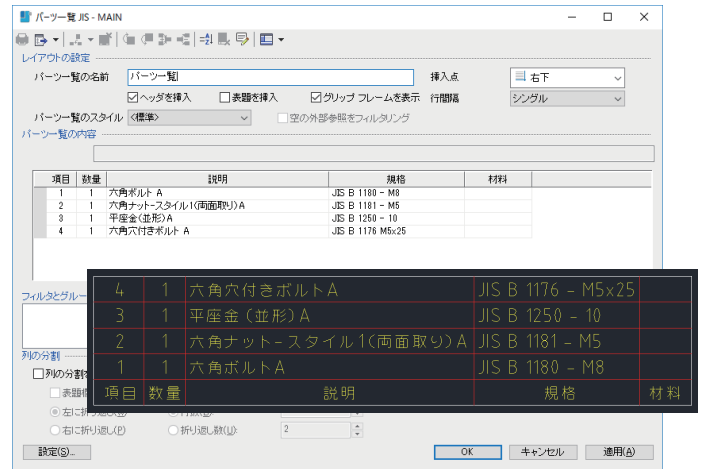
## 隠線処理

IJCAD Mechanical で隠線処理の設定を行うと、その後図形を動かしても破線部分の位置が自動で更新されます。※AutoCAD Mechanical の隠線処理との互換は、今後のバージョンアップで対応を検討しています。



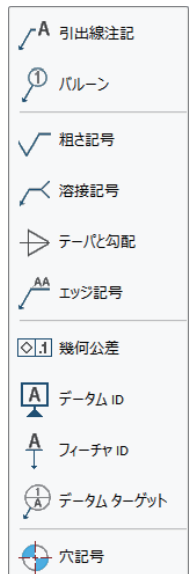
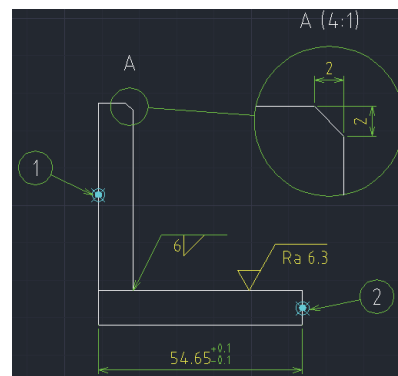
## カスタマイズ部品の一覧表示

BOM 設定機能により、独自の規格を持った部品を簡単にカスタマイズが可能で、パーツ情報を付随された部品は自動的に集計され、図面上にパーツ一覧表として配置することができます。バールンを引っ張って直感的に位置を示すことも可能です。



## 機械記号、詳細ビュー機能の強化

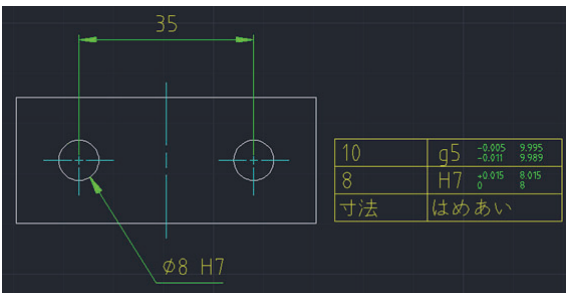
表面性状や溶接記号など、機械製図特有の各種記号を、画面上で素早く直感的に作成できます。既存図面からの詳細図（異尺度）の切り出しも簡単に行えます。



# Mechanical

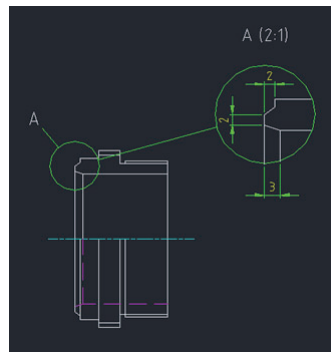
## はめあい一覧

作図領域内に存在する複数のはめあい公差を整理し、一覧表として出力する機能です。図面上に存在するはめあい公差の把握が容易になるだけでなく、一覧内に実際の値での公差範囲が併記されるため、暗算での部品の計測が不要になります。また、個々の寸法では細かい公差値を省略し、一覧の方に詳細を表記することで、図面の煩雑さを軽減することができます。



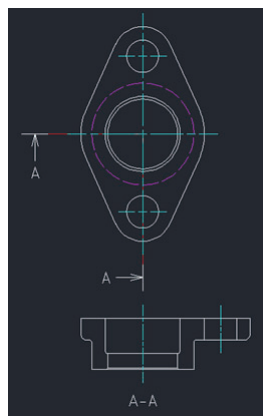
## 詳細図

詳細図ダイアログの外観が Mechanical ライクに変更されることにより、より直感的な操作が可能になりました。詳細図の色や形状を変更すれば、それらがダイレクトにプレビューに反映されます。境界線の形状や接続線の表示、ラベルの位置など、詳細図に必要なすべての情報をダイアログから直接設定できます。



## 切断線

IJCAD Mechanical では、切断する位置の通過点と、断面記号の指定をするだけの簡単な操作で、切断線を作成することが可能です。作成時には、指定した切断面記号を元に、切断位置を示す断面図のラベルが自動的に作成されます。切断線のパラメータはダイアログからより細かく設定することができます。

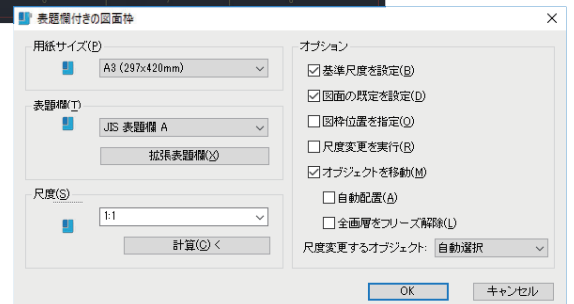


## オブジェクトプロパティ設定

各オブジェクトの作成される画層、色、線種、線の太さを規格内に設定することができます。また、AutoCAD Mechanical で作成した図面に設定されているオブジェクトプロパティ設定も、IJCAD Mechanical で対応している図面形式であれば読み込むことができます。

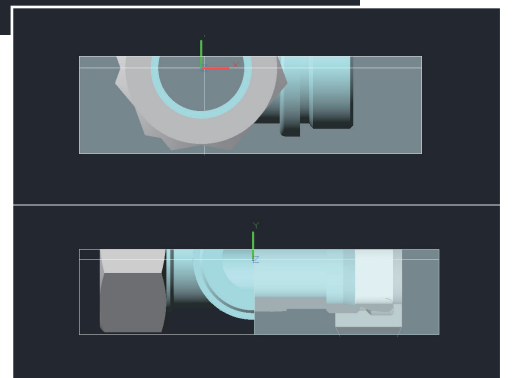
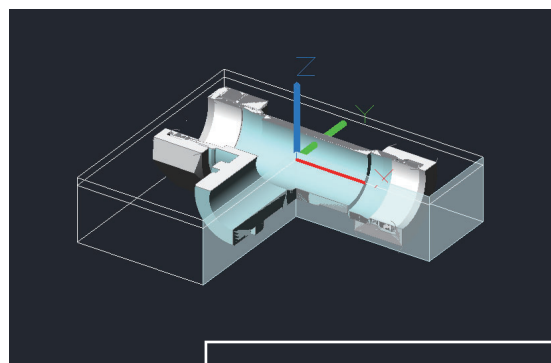
## 図面枠と表題欄

JIS 規格に準拠した図面枠と表題欄が準備されています。カスタマイズも可能で、図面枠、表題欄を自社製の形式に合わせて作成することができます。図面枠はモデルビューやレイアウトビューとは独立した尺度を持っており、図面枠内に配置された Mechanical オブジェクトは、図面枠の尺度によって統一的に管理されます。図面枠の用紙サイズを変更するに伴って尺度を変更する場合、図面枠内に配置されたオブジェクトの尺度を一斉に変更する機能も搭載されています。



## ライブ断面表示

ソリッド、サーフェス、またはリージョンを通る断面オブジェクトの作成と、ライブ断面機能による断面表示が可能です。



## ■仕様比較表

	ICM2020	ACM2020
<b>読み込み</b>		
ACM 2016形式以降	×	○
ACM 2015形式	○	○
ACM 2014形式	○	○
ACM 2013形式	○	○
ACM 2012形式	○	○
ACM 2011形式	○	○
ACM 2010形式	○	○
<b>書き出し</b>		
ACM 2016形式以降	×	○
ACM 2015形式	○	○
ACM 2014形式	△	○
ACM 2013形式	○	○
ACM 2012形式	△	○
ACM 2011形式	△	○
ACM 2010形式	○	○
<b>作図</b>		
対称線 / 下書き線 / 中心線	○	○
切断線	○	○
ジグザグ線	△	○
破断線	△	○
詳細図	○	○
輪郭トレース	○	○
<b>修正</b>		
パワーエディット	○	○
パワーコピー	×	○
パワーイレース	×	○
パワーリコール	×	○
パワービュー	×	○
関連隠線処理 / 2D隠線処理	△	○
パワーマニピュレータ	×	○
パワー面取り / フィレット	○	○
<b>画層管理</b>		
Mechanical画層管理	○	○
画層グループ	○	○
デフォルト画層を現在画層に設定	△	○
デフォルト画層の表示 / 非表示	△	○
<b>ワークスペース</b>		
Mechanical	○	○
ストラクチャ	×	○
Mechanicalクラシック	○	×
<b>図面の表題/履歴</b>		
図面枠挿入	○	○
ビューポート / 拡大領域	○	○
履歴行を追加	○	○
<b>ツール</b>		
部品表マイグレーション	×	○
抽出テンプレート	×	○
パワースナップ	△	○
AMオプション	○	○

ACM = AutoCAD Mechanical ICM = IJCAD Mechanical  
 ○互換対応 ○互換対応(一部制限あり)、独自機能で対応 △部分対応 ×現在は未対応(対応時期も未定)  
 ※上記仕様は、予告なく変更されることがあります。

	ICM2020	ACM2020
<b>図記号</b>		
面の指示記号	○	○
溶接記号	○	○
溶接表示方法	○	○
デッドジョイント	×	○
幾何公差	○	○
データID	○	○
フィーチャID	○	○
データターゲット	○	○
エッジ	○	○
テーパ記号と勾配記号	○	○
マーク/スタンプ	×	○
<b>部品表</b>		
パーツ参照	○	○
部品表データベース	○	○
バルーン	○	○
パーツ一覧	○	○
<b>注釈</b>		
パワーディメンジョン	○	○
複数の寸法記入	○	○
寸法配置	○	○
寸法部分削除	○	○
マルチエディット	○	○
片側/対象ストレッチ	○	○
寸法位置合わせ	○	○
寸法結合	○	○
寸法挿入	○	○
上書き寸法検索	○	○
寸法自動調整再割り当て	×	○
引出線注記	○	○
穴座標寸法	○	○
はめあい一覧	○	○
面取り寸法	○	○
<b>コンテンツ</b>		
IJパーツ参照生成	○	-
IJパーツ参照属性定義	○	-
部品ライブラリ	○	○
コンテンツライブラリ	×	○
コンテンツマネージャ	×	○
穴	○	○
ボルトの組み合わせ	△	○
ねじ、リベット、ピン関係	△	○
ドリルブッシュ	×	○
シャフトジェネレータ	×	○
シャフト/コンポーネント	×	○
形鋼	△	○
ばね	×	○
チェーン/ベルト	×	○
カム	×	○
計算	×	○

## ■価格(税別)

IJCAD Mechanical 2020	
スタンドアロン版	¥160,000
スタンドアロン版メンテナンス・サブスクリプション	¥40,000
USB版	¥195,000
USB版メンテナンス・サブスクリプション	¥48,750
ネットワーク版	¥195,000
ネットワーク版メンテナンス・サブスクリプション	¥48,750
※ネットワーク版の新規購入は3ライセンス以上、追加購入は1ライセンスから購入可能です。 ※ネットワーク版は、メンテナンス・サブスクリプションが必須です。 ※ネットワーク版の利用には、別途ライセンスマネージャー・サブスクリプション契約が必要となります。	
ライセンスマネージャー・サブスクリプション(年間利用料)	¥100,000
インストールDVD(共通)	¥5,000
※各商品にインストール用メディアは付属しません。プログラムはIJCADサイトからダウンロードにより入手可能です。メディアが必要な場合はインストールDVDをご購入下さい。	

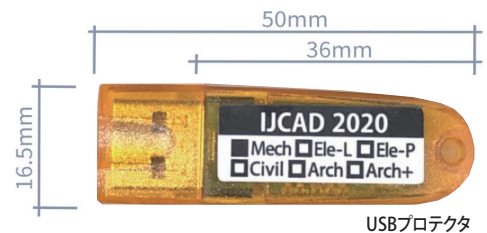
## ■動作環境

OS	Windows 8.1 Windows 10 Ver. 1909 ※.NET Framework 4.8以上が必要
CPU	Core i5以上を推奨
RAM	最低動作環境：2GB 推奨動作環境：8GB ※図面データの容量によっては、より高いRAM環境が必要になる場合があるため、64bit OS推奨
HDD	550MB以上
ディスプレイカード	推奨動作環境：2GB GPU ※Intel(R) HD Graphics 4000などのオンボードグラフィックでの動作実績もあり

注意：Windows 10 では自動アップデートの影響でIJCADの動作に支障が出る可能性がありますのでご注意ください。(アップデートによる影響等はIJCADヘルプセンターに掲載します)

## ■多彩なライセンス方式(海外持出し可)

ソフトウェアアクティベーション方式に加え、USBプロテクタ方式、ネットワークライセンス(FLEXNET採用)とユーザーニーズに合わせて選択いただけます。



**IntelliJapan** 開発元：インテリジャパン株式会社

〒460-0002 名古屋市中区丸の内1-15-20 ie丸ノ内ビルディング11階

総販売元：システムメトリックス株式会社

【東京】TEL:03-3537-3282 【名古屋】TEL:052-219-8831 【神戸】TEL:078-599-8425

※商品名等は、各社の商標または登録商標です。記載内容は予告なく変更されることがあります。

2020.04.01